

平成 31 年 3 月 15 日

東京厚生信用組合

第 9 回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第 9 回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第 10 回会議は、平成 31 年 7～8 月頃に開催する予定です。

— 記 —

1. 日 時 平成 31 年 2 月 1 日 (木) 16 : 00 ～17 : 40

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

(経営諮問委員) (五十音順、敬称略)

鈴木 豊 (公認会計士・税理士)

傳田 純 (東京都商工会連合会 専務理事)

西岡 修 (社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム ホーム長)

(東京厚生信用組合)

田代 智彦 (理事長)

中山 功 (常務理事)

高原 伸二 (常務理事)

平山 圭樹 (常勤監事)

杉本 康幸 (企画部長)

4. 田代理事長挨拶骨子

- ・本日は、平成 30 年度 9 月期仮決算概要、第二次経営強化計画の履行状況、第三次経営強化計画の策定状況等を説明させていただき、その後、委員の皆様から忌憚のないご意見等をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

5. 当組合からの説明内容

- ・ 杉本企画部長より、以下の内容について説明いたしました。
 - ① 平成 30 年度 9 月期仮決算概要
 - ② 第二次経営強化計画の履行状況（平成 30 年 12 月末実績及び 31 年 3 月期決算見込み）
 - ③ 第三次経営強化計画の策定状況
 - ④ 全国信用組合監査機構監査の結果概要

- ・ 中山常務理事より、以下の内容について説明いたしました。
 - ① 平成 31 年 3 月期決算見込みにおける経費及びコア業務純益の見通し

6. 会議における主な意見

出席委員の皆様から、以下のようなご意見・ご提言をいただきました。

- 平成 30 年度 9 月期仮決算において、預金残高や余資運用益が大幅に減少しているが、その要因については理解した。
- 中小規模事業者向け貸出が計画を上回り好調であるが、そのうちの半分以上を占める不動産業向け貸出については、先が見えない状況であり注意が必要である。
- 31 年 4 月から第三次経営強化計画がスタートとのことだが、第一次経営強化計画当時と比べれば、経営体質は良い方向に変わってきたと思われる。ただ、不動産業向け貸出への依存度が高いことについては、今後の課題と思われる。
- 第三次経営強化計画において、歯科医師をターゲットにするのは良い。開業は多く、また、施設入所者等からの訪問診療のニーズも高い。
- 持続可能な業域への取組のための種まきは行われてきているようだが、今後、成果を出していくことが必要である。
- 経営の効率化のためには、AI 化やロボット化の推進も検討が必要であり、メガバンク等の動きも見ながら、後れをとらないように留意すべきである。
- 退職者が多い一方で、人材の確保には苦勞しているとのことだが、どこも人材確保には苦勞しているようである。対応策として、通年採用等募集方法の工夫が必要と思われる。また、働き方改革の進展も見ながら対応していく必要がある。
- 東京都教育委員会が都立商業高校生の育成のための「商業教育コンソーシアム東京」の業務に携わっており、募集先として商業高校を紹介することも可能である。
- 商業高校生は優秀であり、人材確保先として推奨したい。地方の学校を対象にするのもよいのではないかと。
- オペレーション事故や苦情は、その真の原因を追究して対応していかないと、大きな事故につながる恐れがあるので、留意が必要である。

7. 田代理事長からの回答

本日は、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

以上